



令和3年10月  
第34号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜木は、最初は小さく、誰も気づく人はいない。何  
年か、そして何十年かが過ぎ、やがて人々は、その桜木  
の魅力に少しずつ気づくようになる。  
はじめの頃はそこに道はない。一目見たいと人が集ま  
り、だんだん細い道となる。  
その桜は、春の事もなく、ただ淡々と咲いて散るだけ。  
そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport  
発行者 久保成明  
〒818-0004  
遠紫野市大字吉本2459-1

### 「一日の終わりには静かに反省してみよう。」

自分や周りの人に対して素直になるための研修として、5年ほど通っていた素心学塾というものがあります。これは、利己的で謙虚さに欠けている私のような人間にはうってつけのものでした。(笑)  
塾に通わなくなつて7年になりましたが、その当時の教えを思い出しては、書棚にある本を手にとって読んでいます。何度も読んだはずなのに、気づきや反省、時には経営の方向性にも影響を与えるなど私にとって影響力のある、素晴らしい宝物です。今回、研修会の中から使用していたとても大切な書「素心学要論」をもう一冊購入し、開かずにそと書棚に収めました。意味があるかというところは何もありません。ただ、10年も読み続けて、ページには折り目がついて、インデックスなどを貼りまくっているのを、なんと本が可哀そうになつてしまい、購入を決意しました。新しい本の中身は一緒でも、また違った印象を私に与えてくれて、当時の思いを再確認させてくれました。

それは、塾に通い始めて2年目の時、塾頭(塾長ではなく、全体を取り仕切られる教頭先生のような人)から、「久保さんはいつも報告書をきちんと挙げてこられますね。素晴らしいですよ。もし可能であれば、日曜日に先輩方が学ぶ、素心学塾要論講座に参加されませんか?」とお誘いをいただき、今ご紹介した素心学要論の本をすぐに購入しました。まだ学びの浅かった私にとって、要論は難しいものでした。素心学塾の難しさは「知行合一」でなければ本當に学んだことにならないという点です。「全体の雰囲気や柔らかく、品性を豊かにすること」、「物事の本質をありのままに受け入れること」などをよく自然で当たり前なのですが、心のくせが強い人、変わろうとしない人からすれば課題が多く、なかなか成長できません。塾頭からは、「短時間でも、毎日禅的瞑想を実行しましょう。それと一日の終わりには静かに反省する習慣を身につけましょう。」と勧められました。

禅的瞑想の手順は丁寧な表をいただき、手順通りの形はできますが、身体が揺れ、「坐」になれず、次々と思いが湧いてきてしまい、繰り返して実践しますが集中ができません。(心が整わない)

一日の反省では、朝からの行動や、何をだれに話したのかなど、思い出そうとしても思い出せず、極端な例を言うと、お昼何を食べたかすら出てこないときもあり、いかに平日頃の行動に責任が持っていないかということと、物事に対する関心が薄れていることが、瞑想をすることで再発見でき、自己を正すきっかけとなりました。関心が薄れるということは、人への感謝の気持ちも薄れることに他なりません。

皆様には、私のように関心が薄れる方はいないと思います。毎日その瞬間まで、自己の行動や発言に責任が持てる(間違わない)人はいないと思います。ですから、瞑想は無理でも、一日一日を淡々と過ごすのではなく、床に入るときに一日を振り返り、静かに反省をすることを勧めます。

知らず知らずのうちに、周囲の人に不快さを与えていることにそれぞれが意識を向けてご利用者様、従業員、取引先の方と向き合っていただければ私はとても幸せです。

クラブハート所長 久保成明



令和 3年 11月  
第 35号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜は、最初は小さく、推も或づく人はいない。何年か、そして何十年かが過ぎ、やがて人々は、その桜の魅力に少しづつ或づくようになる。  
はじめの頃はそこに運はない。一目見たいと人が集まり、だんだん細い道となる。  
その桜は、春も事もなく、ただ淡々と咲いて散るだけ。そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport  
発行者 久保成明  
〒818-0004  
筑紫野市大字吉木2459-1

「不遇な時こそ平然とする」

おかげさまで、次子をもつて節目の3年を迎えるこの深山の桜。一通一通、心を込めて封入させていただく中で、第一号のことを思い出します。今では良い勉強だっと思えるようにもなれましたが、当時は、「なんて苦しいことか、こんなにも辛いことが続くなんて...。」と未熟な私たち夫婦は、心に波風が立つては、愕然とするばかりの毎日を経験しました。私たち夫婦の折れかけた心を支えてくれたのは、いつもそばで励ましてくれた4名の社員でした。あの時の気持ちちは、何にもかえがたい私の宝物です。

先日、私が親しくする方からお電話がありました。  
「久保さんお疲れ様です。いつもお世話になってます。」「実はですね...。今会社を休んでいるんです。」「私が、「どうなさいましたか?」と尋ねたところ「先日次男が自殺しました。22歳でした。」「そんな報告を私にするのは辛かったことでしょう。彼女には、5人の子供さんがいらつしやいます。不遇にも旦那様に先立たれましたが、女手一つで家族を支え精一杯働く、笑顔の素敵な方です。わたしも言葉を失いましたが、とにかく話を遮らず吐き出せるように努めました。傷も癒えぬ中、私の質問にも冷静にお答えいただき、私に感謝の気持ちまで伝えてくださいました。そんな彼女の姿勢から「不遇な時こそ平然とする」という菜根譚の言葉を重ねてしまい、感情を表出したり、マイナスなことばかりを口にしたりの過去を思い出して反省させられました。菜根譚にはこのように書いてあります。

不遇な時こそ、胸々とした精神状態を抑制し、心穏やかに過ごすことが大事である。いつの日か、世に認められるまで愚者の心で毎日を過ごすのがよい。不遇な時に愚者の心で過ごすには、次に示す態度が肝要となる。

- ① 冷静に物事を受け止める。
  - ② 問題に直面しても慌てない。
  - ③ 落ち着いて考える。
  - ④ 必要以上の関心を寄せない。
  - ⑤ 気持ちを落ち着かせる。
  - ⑥ 怒りが湧き上がっても「冷静に」と自分に語りかける。最初は葛藤をおぼえるが、これを習慣にするうちに、自然とそう振舞えるようになり、この境地に達することで今度はあなたが登用される番になる。(中略あり)
- 様々な人の支えによって、そして謙虚に自己研鑽に励むことで相手を許し、自分やその周囲の人が幸福に向かう番がくることをAさんと菜根譚から学ばせていただいた気がします。
- いつも申しませんが、私に欠けている「寛容さ」が、前述の6つを意識しながら生活することで養われることを期待して、取り組んでまいりたいと思います。次男つ〇さ君の御霊が安らかならんことをただただお祈りいたします。

自己の欠けているところをどなたかが正してください、未熟ながらも発信できる私はとても幸せです。

クラブハート所長 久保成明



令和 3年 12月  
第 36号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜は、最初は小さく、誰も気づく人はいない。何年か、そして何十年か過ぎ、やがて人々は、その桜の魅力に少しづつ気づくようになる。  
はじめの頃はそこに運はない。一目見たいと人が集まり、だんだん細い道となる。  
その桜は、着る事もなく、ただ淡々と咲いて散るだけ。そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport  
発行者 久保成明  
〒818-0004  
筑紫野市大字吉本2459-1

「心も身の回りも整理整頓する。」

令和3年11月1日に宅配事業を核とした、株式会社よもぎを開業しました。

この会社の目的は、今後さらに進む過疎化、高齢化、独居化（一人暮らしを指す）を宅配事業を通じて紡いでいくことです。関係する方々の安否確認や体調の変化はもとより、地域及び個人のニーズ把握に至るまで一貫して実施ができ、お役に立てるのではないかとこの思いからでした。要領が悪いせいもあって、いつの日か実現できたらいいなあ、まずは弁当の製造と販売からスタートすることにしました。

この度、クラブハート・ばこあはこ・エクレートの職員さん、ご利用者様向けに手作りにこだわったお弁当を販売させていただくこととなり、冷凍で密封されて運ばれていた従来の食事を廃止し、12月1日から調理員の方々とお弁当作りに参加させていただいております。様々なルール変更や今までのタイムスケジュールとのギャップに四苦八苦しながらも、「おいしい食事を提供する。」ただその一心にみんながまどまり、厳しい意見交換もありながら一歩一歩進んでおります。1月から、ごく身近な方々ではありますが、ご要望があるお客様への宅配も検討しており、さらに身が引き締まる思いです。

さて、この度のテーマ「整理整頓」ですが、皆様は得意ですか？ 不得意ですか？  
経済ジャーナリストの桑原晃弥氏の著書「仕事の効率を上げミスを防ぐ整理整頓100の法則」において、興味深い内容が記載されていたのでご紹介させていただきます。

まず「整理」とは、単純にいらぬものを捨てる。「整頓」とは、必要なものをすぐに取り出せることだそうです。大切なことは「知る」こと以上に「実行する」ことが挙げられます。

私たちの仕事にも「無駄」があります。それはズバリ、「探すこと」です。わかりやすく説明しますと…

「無駄」原価のみを高め、必要のないこと。  
「付随作業」付加価値のつかない作業(移動・離れた場所に部品を取りに行く、包装を解くなど)

「正味作業」付加価値を高める作業です。  
トヨタ自動車ではこの「無駄」探すことを廃し、「動きを働かす」社風があるそうです。

本来であれば、机や引き出しは、業務に必要なもので、すぐに引き出せる状態が理想です。それが整理整頓だからです。皆様の作業スペースはいかががでしょうか？ もう一つ興味深かったことが、なぜいつもものを探すのかという真因を探り出してみようという言葉です。「なぜ見つからないの？」「なぜどこにあるのかわからないの？」「なぜ整理場所が決まっていないの？」「なぜ棚や引出しが一杯なの？」「なぜ引出しや棚が不足しているの？」「このようにして5回のなぜで原因にたどり着けるように社内ルール決めと標準を決めて取り組むことで効率のよいお仕事につながると学びました。もともと私自身がだらしない性格であり、私に原因があると確信しておりますので、新しい事業と新しい年にあやかっ、社員のみならず（整理・整頓・清掃・清潔・躰）に取り組めたら私はとても幸せです。

クラブハート所長 久保成明



令和 4年1月  
第37号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜本は、最初は小さく、誰も気づく人はいない。何年か、そして何十年か過ぎ、やがて人々は、その桜本の魅力に少しずつ気づくようになる。  
はじめての頃はそこに道はない。一目見たいと人が集まり、だんだん細い道となる。  
その桜は、春も事もなく、ただ淡々と咲いて散るだけ。そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport

発行者 久保成明

〒818-0004

流紫野市大字吉本2459-1

「ポジティブとネガティブについて」

よく耳にする「ポジティブ」と「ネガティブ」という言葉があります。聞いたことがありますという方は少ないのではないのでしょうか？

「ポジティブ」とは、いつも樂觀的に捉え、どんなことでも、きっと良い方向に向かうだろうと思うことや、そんな性格を意味します。辞書では、積極的である様、肯定的である様と書かれています。

「ネガティブ」とは、ポジティブとは対極に位置する言葉であり、消極的で、何をやってもうまくいかないなど暗い気持ちになったり、くよくよしたりして、常に不安を感じる状態を言うそうです。

あなたは、平日頃の生活の中で、ポジティブが多いですか？ネガティブですか？  
ポジティブな人にも多い特徴として……

- ①笑顔が多い。
  - ②深刻に考えない。
  - ③好奇心旺盛な性格。
  - ④自分のことが好き。
  - ⑤楽しみを見出そうとする。
  - ⑥自信を持っている。
- だそうです。(笑)

一度の人生です。自分の行動で周囲の人が喜んでくれたり、楽しんだり、幸せを感じてくださったり、それを自分の喜びに変えることが私の目標です。

色は黒、灰色、紺というよりは、橙、赤、黄といった原色を好みます。心の持ちようや刺激を受ける量にもよりますが、たいてい決々と展開していくことを休まずにやっています。深く考えず、くよくよするよりも、出てきた結果を受け止め、乗り越えることにエネルギーの大半を注ぐ性格です。失敗もありました。しかし、どんな辛い思いをしたのかは知りませんが、最近有名な方が自殺したり、人を簡単に殺めたりするのを見聞きするたびに、胸がはり割かれんばかりの気持ちでいっぱいになることがしばしばあります。勉強やヤスポーツ、簡単なお金の儲け方は教えても、肝心かなめの人としての道が疎かになっているように思えてなりません。

以前もお伝えしましたが、今一度、幸福な人生とは何なのかを一緒に振り返ってみましょう。

- ① 身体が健康であること。
  - ② 経済的に困ることがない。(お金持ちになることではない)
  - ③ 人間関係が良好である。
  - ④ 精神的に安定している。
  - ⑤ 生き甲斐を持っている。
- 人と比べて、不幸を考えずときりがありません。他人と比べたがる人の傾向が、このネガティブを発想です。努力もせぬまま、愚痴や不平不満ばかりを口にするようになりかねません。私たちグラブサポートの職員は、お困りごとの解決を業務の中心に据えております。ほんの少しだけお手伝いする気持ちで、その日一日、自分以外の人を喜ばす気持ちをもつて仕事に参加していただきたいと願っています。ひよとしたら、その日、ネガティブだった方が、あなたのちよとした思いやりがきっかけで、ポジティブな気持ちになれることがあるかもしれぬ。そんなポジティブさをもつた職員と良い風を感じながら仕事が出来たら、私はとても幸せです。



令和 4年 2月  
第 38号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜本は、最初は小さく、誰も気づく人はいない。何年か、そして何十年か過ぎ、やがて人々は、その桜本の魅力に少しづつ気づくようになる。  
はじめの頃はそこに道はない。一目見たいと人が集まり、だんだん細い道となる。  
その桜は、着る事もなく、ただ淡々と咲いて散るだけ。そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport  
発行者 久保成明  
〒818-0004  
筑紫野市大字吉本2459-1

「言葉は難しいが面白い」

今回の学びは、日本文芸社発行の山口拓朗氏著、「言い方&返し方の技術」より、言葉の意味を理解し、教養を高めると同時に、自己の本気度を完成に近づけるのに必須な条件である語彙力のアップです。

普段何気なく使っている言葉が、どれだけ影響力を示しているか、あるいは、一つの言葉が持つ意味と表現の言い換えによって、自身の考えや思いをどれだけ相手に理解してもらえらるかを一踏に考えていきたいと思っています。  
また最近では、よく知らない言葉を格好が良いからということ、意味をよく理解せぬまま使っているなんてことはないでしょうか？そんな人がいたのなら、恥ずかしいので使用前によく調べることをお勧めします。

さて、「頑張る」と人は良く言いますが、「頑張る」の意味は、目標に向かい努力することです。私は、頑張ることは当然だと考えます。それよりも、何を、どのように、どの程度頑張るのかに興味があります。しかし、「頑張る・頑張る」が先行し、気がつけば、何を頑張ったのかを説明できず、出てきた結果で取り繕う人が多いのではないのでしょうか。  
次に示す言葉は「頑張る」の決意を表す言葉です。

「鋭意努力する」 気持ちを集中して努力する。

「手を尽くす」 あらゆる手段・方法をやり尽くす。

「精進する」 ストイックに一生懸命努力する。

「全身全霊を捧げる」 心身のすべてを捧げて励む。

「不退転の決意で臨む」 固い意志で目標に向かう。

自分が上司や同僚に誓った、「頑張る」は見つかりましたか？

組織の管理人は、是非ともこの「頑張る」について大いに反省し、自分がどの「頑張る」を選択するかを明確化できるように努めていただきたいです。覚悟が決まると、ゴールが見え、ゴールが見え、人は不思議と力が湧いてきます。

私から見ると、皆様頑張っておられるのは承知しています。もし、「頑張っているのに結果が出ないんです。」という方がおられたとします。その方が何を頑張ったのか興味があります。興味があるか？方法手段は間違っていないか、覚悟・熱意はどの程度あるのか、企画や計画、段取りなどきちんと考慮しているかなどが気になります。

そこまでできていたのなら、頑張っていることに水を差していることがきつと見つかるはずですよ。

イエローハットの創設者鍵山秀三郎先生と下関掃除に学ぶ会でお会いした際、平凡なことを非凡に努めること。(凡事徹底)についてご教示いただきました。トイレの小便器を素手で磨きながら感じたことは、ただ一心にということでした。私の中の「頑張る」は精進することのようです。経営をするということは、時に非情な決断を迫られる時もあります。理不尽を受け入れることもしばしばです。精進する気持を根づかにもって、毎日をより楽しく過ごせるように、これからも努力したいです。

「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」の精神で、皆様と苦楽を共に、間違があれば正しながら、一歩また一歩と進んでいけたなら、私はとても幸せです。

クラブサポート所長 久保成明



令和 4年3月  
第39号

深山の桜は、土手や公園に咲いている桜ではない。  
その桜は、最初は小さく、誰も気づく人はいない。何年か、そして何十年かが過ぎ、やがて人々は、その桜の魅力に少しずつ気づくようになる。  
はじめの頃はそこに道はない。一目見たいと人が集まり、だんだん細い道となる。  
その桜は、著る事もなく、ただ淡々と咲いて暮るだけ。そんな「深山の桜」のようでありたい。

発行所 株式会社GloveSupport

発行者 久保成明

〒818-0004

筑紫野市大字吉本2459-1

「声」を出すことで行動のきっかけにしよう

私は、何かを始めるとき、自分が何をしたいのかを前もって人に話すようにしています。身近な妻や幹部職員は、「また所長が言いだしたよー。だれか止めてー。」といつも半信半疑です。

経済や社会の仕組みは、私たちが想像する以上に速いペースで流れています。私が思うことは、人と同じ速さで、人と同じことをして行けば、きっとその企業の業績は低迷しないまでも、向上はあり得ません。会社の将来や自分が描く「夢?」「目標?」「期待?」「こういつたものを声に出して、当事者意識を持つこと(私だけならこういうやり方で、こうすればもって会社が、仕事が、面白くなるのではないかと思う。そのために私はこんなことがしたい。)」

一年ごとに年を重ねて、人としての魅力が増すように、仕事においても、魅力のあるワーカーを目指していただき、現状が打破できる社風がビュンビュン吹きまくることを期待します。

私が常々いう社風とは、儲けることではありません。どんな人でもチャンスがあつて、どんな人でも一旦受け入れることができる、広く思いやりのある心を育む社風のことです。

昨年6月、「弁当屋をしたい。」と言い出した私。みんな「はっ?」と頭にハテナマーク。

大卒の作業所エクレートを開設して一か月後のことでしたので、皆反対でした。反対されるのは当然でしたので、どうすれば実現できるかを考えました。私が弁当屋をしたいと思っただけは次の通りです。

- ① 毎日通所される方のお昼が、高齢者が召し上がるような柔らかく味気ない物だった。(残飯が多い)
  - ② 食レクを職員が実施してくれた時、ご利用者の反応がうれしくて仕方なかった。(やりがいの開花)
  - ③ ご利用者の生産活動対価を支払うためには、売上を作る必要があり、軌道に乗れば、米の仕入れが1年後、3年後このようになるという、シミュレーションをする中で効果が期待できた。(説得材料)
  - ④ 将来の過疎化高齢化を含む、地域での宅配事業に直結できる。困った人のお役に立ちたい。(願望)
- 声を出すことは、イコールで責任を持つと言うことです。本当のやりがい幸せは、声に出し、人に聴いてもらうことから始まるような気がします。手の内を明かさずに、状況を読んで行動するようなずる賢い人にならなくて済むように、どんどん発言し、どんどん行動していただきたいと思えます。
- 結果は、その人が行動した3か月後、半年後、一年後に必ず出ます。

孔子は言いました。

過ちてあらためざる、これを過ちといふ。

この機会に、過去の自分と向き合い、心から自分の信念を周囲の人に伝えられているか、自分自身が良い社風の一助に役立っているかを振り返るきっかけとなっていたただけたなら、私はとても幸せです。

